Faculty of Music

学生募集要項

一般選抜/社会人特別選抜 京都市立芸術大学 一音楽学部一

京都市立芸術大学

Kyoto City University of Arts - founded in 1880 -

重要なお知らせ

新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によっては、学生募集要項に記載されている選抜方法とは異なる日程*・方法で選抜を実施する可能性があります。 その場合は、本学ホームページ(https://www.kcua.ac.jp)で随時、お知らせします。

※分離分割方式の後期日程の範囲内での日程変更の可能性があります。

- 音楽学部の教育・研究目的 -

音楽学部は、個性を尊重し創造性を育む専門的な音楽芸術の教育研究により、幅広い教養 を併せ持つ優れた音楽家や研究者となりうる人材を育成することを目的とします。

◆ アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

音楽学部は、次のような学生を求めています。

- 1 音楽芸術の専門教育を受けるに足る基礎的技術と知識、強い学習意欲を持つ学生
- 2 個性と芸術的創造力にあふれる学生

◆ カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

音楽学部は、少人数教育の利点を活かした密度の高い指導を通じて、学生が専門分野における技術と知識を学び、感性を養うとともに、あらゆる芸術の土台となる幅広い教養と、次の力を身につけることを目指し、カリキュラムを編成し、実施します。

- 1 実演分野においては、楽器、声を操る上での基礎的な身体技法及びそれらを自由に操る知的応用力
- 2 創作分野においては、作曲上必要となる基礎的な楽音の取扱い方と知的応用力、また その記譜力
- 3 学術分野においては、教養教育にも重点を置いた教育課程によって培われる、問題を 把握する基礎的な思考力、情報リテラシー能力及び情報発信力

◆ ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

音楽学部は、卒業時までに達成すべき目標を以下のとおりとします。

- 1 実演、創作、学術の各分野における、音楽人として相応しい音楽的もしくは学術的基 礎力、応用力の獲得
- 2 幅広い教養を有し、それらを社会に対して創造的に発信し、芸術文化に寄与できる能力の修得

入学試験の基本的な考え方・方針

音楽学部は、アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)に適した学生を受け入れるため、以下 の試験を課しています。

【作曲専攻、指揮専攻、ピアノ専攻、弦楽専攻、管・打楽専攻、声楽専攻】

- ・本学での専門教育を受けるに足る基礎的な学力を評価するため、大学入学共通テスト(国語、外国語等)を課します。
- ・本学での専門教育を受けるに足る専攻ごとの技術や知識を評価するため、第一次試験において各専攻 別に課題を課します。
- ・本学での専門教育を受けるに足る幅広い音楽的素養を評価するため、第二次試験(音楽通論、聴音書 取、新曲視唱、副科ピアノ演奏等)を課します。
- ・以上の試験の成績を総合的に判断し、最終合否判定を行います。

【音楽学専攻】

- ・本学での音楽学の専門教育を受けるに足る基礎的な学力を評価するため、大学入学共通テスト(国語、 外国語等)を課します(社会人特別選抜を除く)。
- ・第一次試験では、本学での音楽学の専門教育を受けるに足る語学力を評価するとともに、学術的研究 に必要な着眼力、問題提起能力、課題解決に向けた発想力、論理的思考力及び文章構成力を、学生募 集要項の発表と同時に公開する課題に対する事前提出物によって測ります。
- ・第二次試験では、音楽に対する学術的研究を実践する上で必要となる着眼力、問題提起能力、課題解決に向けた発想力、論理的思考力、プレゼンテーションや討論などのコミュニケーション能力を測るために、主に事前提出物で論じた内容に関する口頭試問を実施します。
- ・以上の試験の成績を総合的に判断し、最終合否判定を行います。

なお、入学試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価も行います。その評価 については以下のとおりです。

【指揮専攻、ピアノ専攻、弦楽専攻、管・打楽専攻、声楽専攻】

管弦楽、吹奏楽、室内楽や合唱など、アンサンブルとして演奏すること、また、伴奏者と合わせて演奏することは、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ」ことそのものです。従って「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については、実技演奏で評価します。調査書は必要に応じて参考として使用します。

【作曲専攻、音楽学専攻】

面接試験で主体性、多様性、協働性を測る質問の参考として調査書を用います。

なお、いずれの専攻においても、志願者本人が記載する資料等の提出は必要ありません。

入学前に身につけてほしい力

音楽学部の各専攻では、以下のような能力を入学までに身につけることを期待します。

作曲専攻

- 和声法及び対位法の基礎能力
- ・それらを使って、音楽を構成できる能力
- ・高度の作曲法へ進むための、読譜力、理解力、知的好奇心

指揮専攻

指揮法、いわゆるバトンテクニックの習熟度よりも、音楽家としての基礎力の習熟度を重視 具体的には、

- ・聴音、視唱等のソルフェージュの基礎能力の向上
- ・和声法の基礎能力

の2点を重視。

加えて、ピアノまたは他の楽器、声楽での演奏を通して音楽的な表現が出来るような、演奏面での習熟

ピアノ専攻

- ・基礎的な読譜・初見能力の習得
- ・音楽の語法、形式、様式(スタイル)に対する理解と実践
- ・基礎的な練習曲、演奏技術(メカニズム)の理解と習得
- ・バロック・古典・ロマン・近現代作品など多様なレパートリー構築への準備

弦楽専攻

- ・基礎的な読譜能力および演奏技術の習得
- ・音階、練習曲、協奏曲の学習と実践
- ・バロック・古典・ロマン・近現代の多様な作品の演奏への準備

管·打楽専攻

- ・基礎的な楽器演奏技術
- ・基礎的な読譜能力及び、様々な時代様式の楽曲に対する基礎的理解とその表現技術

声楽専攻

- ・基礎的な歌唱技術
- ・聴音、視唱等のソルフェージュの基礎能力(特にコールユーブンゲンは重要な課題の一つなので、習得しておくこと)

音楽学専攻

音楽に対する関心に加えて総合的な俯瞰能力を有する者を求めます。それに当たって以下に掲げる基礎 的な学力が受入の際の評価の対象となります。

- ・高等学校の教育課程の教科・科目の履修により培われる論理的思考能力
- ・高等学校の教育課程の教科・科目で習得した内容を活用する能力
- ・国語・外国語を用いたコミュニケーションならびに自己表現の能力

Ⅰ 一般選抜 (社会人特別選抜との併願はできません。)

1 募集人員

音楽学部(計65名)

T N 1 H (H 02 H)							
学科	専攻	募集人員					
	作曲専攻						
	指 揮 専 攻	4名					
	ピアノ専攻	14名					
	弦楽専攻	14名					
音楽学科	管・打楽専攻	16名					
	声楽専攻	14名					
	音楽学専攻	3名					

- 注1 本学部は後期日程のみの募集です。
 - 2 音楽学専攻の3名は社会人特別選抜の募集人員を 含みます。

2 出願資格

本学に出願できる者は、(1) ~ (8) のいずれかに該当する者で、令和 5 年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を全て受験した者とします。大学入学共通テストにおいて指定する教科・科目及び配点については、「3 大学入学共通テストで受験を要する教科等」をご参照ください。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)及び令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣が指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則第8条第1項に規定する認定試験合格者(旧大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)第8条第1項に規定する資格検定合格者を含む。)及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で、令和5年3月31日までに18歳に達する者
- (8) その他相当の年齢に達し、学長が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3 大学入学共通テストで受験を要する教科等

大学入学共通テストにおいて受験しなければならない教科・科目及び配点は次のとおりです。必要な 教科のうち 1 教科でも欠席した場合は受験を認めませんので、受験科目を十分確認のうえ、出願して ください。

専攻	教科	科目	配	点
	国語	「国語」	200 点	
作曲専攻指揮専攻	地理歴史公民 数学	「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」「数学 I 」「数学 I・数学 A」「数学Ⅲ」「数学Ⅲ・数 学B」から1科目選択	素点 100 点を 200 点に換算	3 教科 3 科目 合計 600 点
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」か ら1科目選択	200 点	
ピアノ専攻	国語	[国語]	200 点	
弦楽専攻 管・打楽専攻 声楽専攻	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」か ら1科目選択	200 点	2 教科 2 科目 合計 400 点
	国語	「国語」	200 点	
音楽学専攻	地理歴史公民 数学	「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学Ⅲ」「数学Ⅲ・数 学B」から1科目選択	素点 100 点を 200 点に換算	3 教科 3 科目 合計 600 点
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」から1科目選択	200 点	

- 注 1 外国語のうち「英語」を選択受験した場合の配点は、リーディング(100 点満点)を 140 点満点に、リスニング(100 点満点)を 60 点満点に換算し、合計得点を 200 点満点とします。なお、リスニングテストを受験しなかった場合は失格となります。ただし、リスニングテスト免除者については、リーディングテストの成績を 200 点に換算し利用します。
 - 2 作曲専攻、指揮専攻、音楽学専攻における「地理歴史、公民」での2科目受験者については、 第1解答科目の得点を採用します。
 - 3 作曲専攻、指揮専攻、音楽学専攻において「地理歴史、公民」と「数学」を受験した場合は、「地理歴史、公民」と「数学」のうち高得点の1教科の得点を採用します。
 - 4 過年度の成績を利用することはできません。

4 出願の流れ

インターネット出願システムを利用し、出願状況等の必要事項を登録のうえ、必要書類を出願期間 内に簡易書留・速達郵便で郵送してください。

(1) 必要なインターネット環境

パソコン	Windows: Microsoft Edge(最新バージョン) GoogleChrome(最新バージョン)、Firefox(最新バージョン)
	MacOS : Safari(最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android : 5.0 以上(Android Chrome 最新バージョン) iOS : 10.0 以上(Safari 最新バージョン)

- ア どのウェブブラウザでも、以下の設定を行ってください。
 - · JavaScript を有効にする。
 - · Cookie を有効にする。
- イ セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない 場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポー トセンターに問い合わせてください。

(2) 出願の流れ

(1) アカウント作成 ※Post@net のアカウントをお持ちでない場合

インターネット出願登録サイトの利用にはアカウントが必要になりますので、下記の手順でアカウントを作成してください。

【アカウント作成の流れ】

- ① 京都市立芸術大学ホームページ (https://www.kcua.ac.jp/examinee/) にアクセス。
- ②「インターネット出願」をクリックして出願ページを開きます。
- ③ Post@net のログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- ④ 利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードを入力して「登録」ボタンをクリック。
- ⑤ 入力したメールアドレス宛てに、仮登録メールが届きます。
- ⑥ 仮登録メールの受信から 60 分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。
- ⑦ ログインの際には、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力し、ログイン してください。
- ⑧「学校一覧」から「京都市立芸術大学」を検索し、お気に入り学校の登録をしてください。
- ※アカウント作成の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール(Gmail や Yahoo! メールなど)や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン(@kcua.ac.jp、 @postanet.jp)を受信指定してください。出願登録完了時・入学考査料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。



(2) インターネット出願登録期間・方法

令和5年(2023年)1月16日(月)から2月3日(金)15時00分まで

本学のインターネット出願登録サイトから、出願情報等の必要事項を登録してください。

【出願登録の流れ】

- ① 留意事項の確認
- ② 入試区分の選択
- ③ 試験日・学科・試験会場等の選択
- ④ 志願者情報 (氏名・住所等)、演奏曲等の入力
- ⑤ 出願内容の確認
- ⑥ 支払方法の選択
- ※志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容(特に生年月日・電話番号・住所)に誤りがないか十分に確認してください。志願者情報の確認画面を過ぎると内容の変更ができません。
- ※入力する氏名は戸籍名と同一のこと。外国籍の場合は、住民票の写しに記載されている氏名と同一のこと。その他の書類についても同様とします。
- ※志望専攻や楽器について、出願後の変更は認めません。

▼

(3) 入学考査料 17,000 円の支払い

令和5年(2023年)1月16日(月)から2月3日(金)23時59分59秒まで

インターネット出願完了後、コンビニエンスストア、クレジットカードのいずれかにより、指定 された期間までに入学考査料をお支払いください。なお、お支払い後、入学考査料は一切返還し ません。

【支払い方法】コンビニエンスストアを選択した場合

支払いに必要な番号が表示されますので、必ずメモしてください。

【支払い方法】クレジットカードを選択した場合

インターネット出願登録サイトでカード情報を入力し、決済完了すると入金完了メールが通知 されます。

- ※入学考査料支払いの領収書は提出不要です。控えとして保管してください。
- ※クレジットカード支払いの場合、出願登録と同時に入学考査料の支払いが完了しますので、出願内容に誤りがないよう確認してください。
- ※上記支払い方法による支払いが不可能な場合や、入学考査料の支払い後に出願情報(住所・氏名・電話番号等)に誤りや変更が生じた場合は、連携推進課入試担当までご連絡ください。

V

(4)必要書類の印刷・送付(詳細は5出願手続(1)出願に必要な書類等のとおり)

令和5年(2023年)1月23日(月)から2月3日(金)まで(消印有効)

- ① インターネット出願登録サイトから Web 入学志願票等の書類を印刷してください (A4 判、カラー推奨)。
- ② 出願用封筒(市販の角形 2 号封筒(240mm×332mm))を用意し、封筒貼付用宛名シート(A4 判、カラー推奨)を貼り付けてください。

- ※封筒貼付用宛名シートの出力ができない場合は、直接封筒に記入してください。
- ③ 印刷した Web 入学志願票等の必要書類を封筒に入れ、出願期限までに<u>「簡易書留・速達」</u>で郵送(消印有効)してください。
 - ※Web 入学志願票等の必要書類については、入学考査料の支払い後に「出願内容の確認」から 取得が可能です。支払いが完了しても状態が『決済済』に反映されていない場合は、暫く時 間をおいてから再度「出願内容一覧」を確認してください。

郵送先

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6 京都市立芸術大学連携推進課入試担当



(5)受験票印刷

必要書類の受理、入学考査料の入金を確認した後に、本学から「受験票ダウンロードメール」を お送りします。インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロードし、ご自身で印刷の 上、試験当日に必ず持参してください。

※印刷時、ページの拡大・縮小はせずに A4 で印刷してください。

5 出願手続について

(1) 出願に必要な書類等

ア インターネット出願時に必要な書類

	書類	摘 要
1	顔写真データ	最近3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向き・背景なしのもの。 ※ファイルの形式は JPEG、容量は 3MB 以下のデータがアップロード 可。 ※不鮮明なもの・加工されているもの・頭の一部が切れているものは不 可。 ※私服・制服どちらでも可。ただし、出願時に登録された写真データ は、入学後学生証に使用しますので、ご留意ください。 ※インターネット出願登録サイトにアップロードして使用します。
2	大学入学共通テスト成績請求票	令和 5 年度大学入学共通テスト成績請求票(後期日程用)に記載されている番号をインターネット出願登録サイトに入力してください。 なお、同一日程グループに属する 2 つ以上の大学・学部等への出願(いわゆる重願)はできません。

イ インターネット出願登録サイトからダウンロードして大学に提出するもの

	書類	摘要
		入学考査料の支払い後に印刷(A4判、カラー推奨)してください。
1	Web 入学志願票	印刷後、令和 5 年度大学入学共通テスト成績請求票(後期日程用)を成
		績請求票貼付欄に貼付してください。

2	封筒貼付用 宛名シート	入学考査料の支払い後に印刷(A4判、カラー推奨)してください。 印刷後、各自が準備する角形 2 号封筒(240mm×332mm)に貼付してく ださい。
---	-------------	---

ウ 上記イに加え、各自が準備して大学に提出するもの

	書類	摘要
1	調査書	 (ア)出身学校長が作成し、厳封したもの(開封無効) (イ)出身校が廃校その他やむをえない事情のため調査書が得られない場合は、卒業証明書及び成績証明書等を調査書に代えて提出してください。成績証明書が発行できない場合はそれに代わる書類または、出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨の文書」をあわせて提出してください。 (ウ)高等学校卒業程度認定試験の合格者は、合格成績証明書を提出してください。ただし、高等学校等において科目を一部履修したことにより受験科目の一部を免除された場合は、その免除された科目の調査書または成績証明書もあわせて提出してください。
2	角形 2 号封筒	「封筒貼付用宛名シート」を貼付するための市販の角形 2 号封筒(240mm ×332mm)を準備してください。
3	戸籍謄本や運転免 許証の写し等 【 該当者のみ 】	各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明 書等(戸籍抄本や運転免許証の写し等)を添付すること。(該当者のみ)
4	伴奏用楽譜 【 該当者のみ 】	指揮専攻志望者で声楽選択者と声楽専攻志望者(全員)は、伴奏用楽譜 を提出してください。必要部数等、詳細は22ページ、28ページを参照 してください。(該当者のみ)

(2) 入学考査料の支払い方法について

ア コンビニエンスストアの場合

	手順
デイリーヤマザキ/ ヤマザキデイリーストア	インターネット出願登録サイトの画面に表示されたオンライン決済番 号をレジで知らせる
ローソン/ ミニストップ	① インターネット出願登録サイトの画面に表示された「受付番号」を控える ② Loppi (ロッピー)の「各種番号をお持ちの方」ボタンを押す ③「受付番号」と「お申込みした電話番号」を入力 ④「申込券」を発券し、発券から30分以内にレジへ

セイコーマート	① インターネット出願登録サイトの画面に表示された「受付番号」を控える ② レジで「インターネット支払い」とお知らせください ③ お客様側レジ操作画面に、「受付番号・電話番号」を入力 ④ 支払内容を確認し、代金お支払い
ファミリーマート	インターネット出願登録サイトの画面に表示された「第 1 番号(企業コード 20020)」と「第 2 番号(注文番号 12 桁)」を控える 【Fami ポートを使用する場合】 ① Fami ポートの「代金支払い」ボタンを押す ②「番号を入力する」ボタンを押す ③「第 1 番号(企業コード 20020)」と「第 2 番号(注文番号 12 桁)」を入力 ④「Fami ポート申込券」発券し、発券から 30 分以内にレジへ 【マルチコピー機を使用する場合】 ① マルチコピー機の「代金支払い/チャージ」を押す ②「番号入力」を押す ③「第 1 番号(企業コード 20020)」と「第 2 番号(注文番号 12 桁)」を入力 ④ 発券された申込券を 30 分以内にレジへ
セブンイレブン	①「払込票」を印刷またはインターネット出願登録サイトの画面に表示された「払込票番号」を控える② 印刷した「払込票」を渡す、またはレジで「払込票番号」を知らせる

イ クレジットカードでの支払い

インターネット出願登録サイトでカード情報を入力してください。

出願登録完了と同時に入学考査料のお支払いが完了しますので、その後の登録内容の変更は できません。

- 注1 支払方法を選択する前に支払手続画面を終了した場合、Post@net で次のように手続を行ってください。
 - ① Post@net の「出願内容一覧」から、京都市立芸術大学の出願登録が完了していることを確認
 - ②出願一覧から「出願内容を確認」ボタンをクリックして、出願内容の詳細画面を表示
 - ③ 詳細画面下部にある「支払方法再選択」 ボタンをクリックして支払手続を再開
 - 2 コンビニエンスストアの支払いに必要な番号等を控えるのを忘れた場合、Post@net で次のように確認できます。
 - ① Post@net の「出願内容一覧」から、 京都市立芸術大学の出願登録が完了していることを確認
 - ②出願一覧から「出願内容を確認」ボタンをクリックして出願内容詳細画面を表示
 - ③「コンビニ情報再確認」ボタンをクリックして番号等の情報を確認
 - 3 入学考査料の支払期限を超えている出願内容については無効となりますので、手続を進めることはできません。

(3) 受験票

- ア 必要書類の受理、入学考査料の入金を確認した後に、本学から「受験票ダウンロードメール」 をお送りします。インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロードし、ご自身で印 刷の上、試験当日に必ず持参してください。2月16日(木)までに通知がない場合は、電話 等により連携推進課入試担当に問い合わせてください。
- イ 受験番号は次の区分とします。

作曲専攻 21001~ 指揮専攻 22001~ ピアノ専攻 23001~ 弦楽専攻 24001~ 管・打楽専攻 25001~ 声楽専攻 26001~ 音楽学専攻 27001~

ウ 第一次試験の試験開始時刻や諸注意、副科ピアノ課題曲(作曲専攻、指揮専攻、弦楽専攻、管・打楽専攻、声楽専攻)及び事前提出物(音楽学専攻)の提出先などについて、2月16日 (木)以降に、出願時に登録しているメールアドレスにメールでお知らせします。

(4) 出願上の注意

- ア インターネットでの出願に際して、志願者情報の入力・確認画面では必ず入力した内容(特に生年月日・電話番号・住所)に誤りがないか、十分に確認してください。
- イ インターネット出願登録サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。<u>入学考査</u> 料を支払った上で、必要書類を提出期間内に「簡易書留・速達」で本学に送付する必要があ ります。
- ウ 出願期間を過ぎた場合は、いかなる事情であっても受理しませんので、郵送期間を十分考慮 の上、必要書類を送付してください。

(5) 障害等を有する入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害等(視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・発達障害・その他)が ある方は、受験上及び修学上配慮を必要とすることがありますので、出願の前にあらかじめ本学 に申し出てください。

また、申し出に基づき、相談が必要となった場合は以下のとおりとします。

ア 申し出期限 令和5年(2023年)1月6日(金)まで

イ 相談の方法

下記事項(ア)から(オ)を記載した申請書(様式は問いません。)に医師の診断書を添えて 提出することとし、必要な場合は、本学において、志願者またはその立場を代弁し得る出身学 校関係者等との面談等を行います(期限後に、受験上及び修学上配慮が必要になった志願者は、 速やかに連絡してください)。

- (ア) 志望専攻 (イ) 障害の種類・程度 (ウ) 受験上配慮を希望する事項
- (エ) 修学上の配慮を希望する事項 (オ) その他参考となる事項

(6) その他

他の国公立大学・学部*の推薦入学合格者は、本学入学試験を受験できません。たとえ受験して も、受験者として取り扱いません。(推薦入学辞退願を提出することにより入学辞退を許可され た場合を除く。)また、前期日程試験に合格し、3月15日(水)までに入学手続を行った者は、 本学実施試験を受験しても合格者となりません。

※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ(https://www.kodaikyo.org/)を参照。

6 出願状況

出願状況について、本学ホームページ(https://www.kcua.ac.jp/)で速報します。

7 入学試験

(1) 大学入学共通テスト

ピアノ、弦楽、管・打楽、声楽の各専攻については国語 200 点、外国語 200 点です。作曲、指揮、音楽学専攻については国語 200 点、外国語 200 点、選択教科 200 点 (素点 100 点)です。 (4ページ参照)

(2) 本学で行う入学試験

受験者全員に第一次試験を行い、第一次試験合格者に対して、第二次試験を行います。

ア 第一次試験(専攻試験)

【作曲専攻、指揮専攻、ピアノ専攻、弦楽専攻、管・打楽専攻、声楽専攻】(900 点)

実技試験(20ページ以下参照)

【音楽学専攻】(400点)

英語(1時間40分、300点)、事前提出物(与えられた課題に関する研究レポート(2,000字程度)、100点)(29ページ参照)

イ 第二次試験(専攻試験)

【A 作曲専攻、指揮専攻、弦楽専攻、管・打楽専攻】(400 点)

- (a) 音楽通論
- (b) 聴音書取(旋律聴音・和声聴音)
- (c) 新曲視唱
- (d) 副科ピアノ演奏(事前の動画提出による映像審査)

【B ピアノ専攻】(400点)

- (a) 音楽通論
- (b)聴音書取(旋律聴音·和声聴音)
- (c) 新曲視唱
- (d)ピアノ新曲視奏

【C 声楽専攻】(400点)

- (a) 音楽通論
- (b)聴音書取(旋律聴音·和声聴音)
- (c) 新曲視唱、コールユーブンゲン視唱(全訳書第1巻から当日1曲指定)
- (d) 副科ピアノ演奏(事前の動画提出による映像審査)

【D 音楽学専攻】 (900 点)

(a) 口頭試問(事前提出物に基づいたプレゼンテーションと質疑応答) (29 ページ参照)

(3) 合否判定について

【作曲専攻、指揮専攻、ピアノ専攻、弦楽専攻、管・打楽専攻、声楽専攻】

- ・第一次試験合否判定は第一次試験の成績のみによって行います。
- ・最終合否判定は、第一次試験、第二次試験及び大学入学共通テストの成績を総合的に判断して行います。
- ・最終合否判定に際しては、弦楽専攻、管・打楽専攻及び声楽専攻については、カリキュラム実施 上の理由から、入学者間の数的バランスを考慮する場合があります。

【音楽学専攻】

・第一次試験の合否判定は、第一次試験及び大学入学共通テストの成績に基づいて行います。

・最終合否判定は、第一次試験、大学入学共通テストの成績も考慮しつつ、第二次試験の結果に基づき、判断します。

(4) 試験会場

京都市立芸術大学(京都市西京区大枝沓掛町 13-6)

注 試験会場への略図、交通機関については、裏表紙を参照してください。

(5) 試験日程

		作曲	指揮	ピアノ	声楽	弦楽	管・打楽	音楽学
	3月12日(日)	•		•			•	•
第一次	3月13日(月)	•	•	•			•	
試験	3月14日(火)	•	•		•	•	•	
	3月15日(水)				•	•	•	
3月	16日 (木)	注 午後 試験	4時(予 の受験要	領を本学	5一次試験 トームペー	合格者のst ·ジ(https	受験番号及 :://www.kcu は一切応じ	a.ac.jp/)
第二次 試 験	3月17日(金)	第一次試験合格者のみ第二次試験を実施します。 【作曲専攻、指揮専攻、ピアノ専攻、弦楽専攻、管・打楽専攻、声楽専攻】 音楽通論、聴音書取、新曲視唱、コールユーブンゲン視唱、ピアノ新曲視奏、副科ピアノ演奏(事前の動画提出による映像審査) 【音楽学専攻】 口頭試問(事前の提出物に基づいたプレゼンテーションと質疑応答)						

注 1 第一次試験の試験開始時刻などの試験日程、諸注意については、2月16日(木)以降に、出願時に 登録しているメールアドレスにメールでお知らせします。なお、管・打楽専攻の第一次試験は楽器 によって下記の試験日とします。

12・13 日:フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ

14・15 日:サクソフォン、ホルン、トランペット、打楽器

- 2 受験順(演奏順)については、本学音楽学部にて厳正に抽選を行い決定します。
- 3 第二次試験の試験日程について、詳細は、第一次試験合格者への受験要領でお知らせします。
- 4 副科ピアノ演奏については、事前の動画提出による映像審査として実施します(30・31 ページ参照)。

(6) 受験者諸注意

- ア 試験当日、定められた時刻に集合し、係員の指示を待つこと。本学への入口は正門のみとします。
- イ 本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を必ず持参してください。
- ウ 急病その他事故のため定刻に集合できない事情が発生した場合は、速やかに連携推進課入試担 当(075-334-2238)まで連絡してください。
- エ 定められた試験科目を1科目でも欠席すると、以降の試験科目は受験できません。
- オ 試験場構内の下見はできません。
- カ 駐車場を設けていますが、原則として付き添いの構内入場は許可しません。
- キ 入学試験当日に受験できなかった場合、追試験等の特別措置及び入学考査料の返還は行いません。

- ク 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、麻しん、水痘等)に 罹患し治癒していない場合または罹患した疑いがある場合は、他の受験生や監督者等への伝染 の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、症状により医師が伝染の 恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。
- ケ 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中または自宅や宿泊施設において療養中の場合、試験日までに医師による治癒したとの診断がでていない場合は受験できません。また、海外から日本に入国して受験する場合、防疫対策として要請される事項に基づき行動することから、入国後の待機期間中は受験できません。
- コ 試験当日に息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合や、基礎疾患等により重症化しやすい受験生が発熱・咳等の比較的軽い風邪の症状がある場合の他、発熱・咳等の比較的軽い風邪の症状が続く場合は、試験当日における対応等について、かかりつけ医や「受診・相談センター」(地域により名称が異なることがある)に相談してください。また、上記に該当しないものの、発熱・咳等の症状のある受験生は、その旨を試験監督者等に申し出てください。
- サ 発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者の場合は、受験できる場合がありますので、詳しくは連携推進課入試担当に問い合わせてください。なお、試験当日は症状の有無にかかわらず、マスクを持参し、昼食時や試験監督者等から指示があった場合を除き、常に着用してください。
- シ 新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によっては、学生募集要項に記載されている選抜 方法とは異なる方法で選抜を実施する可能性があります。その場合は本学ホームページ (https://www.kcua.ac.jp/) で随時、お知らせします。

8 不正行為等の取扱いについて

(1) 不正行為

下記のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできません。また、全ての科目の成績を無効とします。なお、状況によっては警察に被害届を出す場合があります。

- ア 出願において故意に虚偽の情報を登録したことにより、登録した情報をもとに作成される志願票、 受験票などに虚偽の内容があった場合や解答用紙へ故意に虚偽の記入(解答用紙に本人以外の受 験番号を記入することなど)をすること。
- イ カンニング(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを 教わることなど)をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 試験監督が指示する前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること(ただし、受験用具として持ち込み及び使用を認めている場合を除く)。
- ク 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

(2) 不正とみなされる可能性のある行為

上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為になることがあります。指示等に従わず、不正行為と認められた場合の取扱いは、上記(1)と同様です。

- ア 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていた り手に持っていること(ただし、受験用具として持ち込み及び使用を認めている場合を除く)。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を長時間鳴らすなど、試験 の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- カーその他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9 最終合格者発表

令和 5 年 3 月 20 日 (月) の午前 11 時 (予定) から約 1 週間、本学ホームページ (https://www.kcua.ac.jp/) で合格者の受験番号を掲載します。また、合格者には文書で通知します。この合格通知の発送をもって正式なものとします。

電話等による問い合わせには、一切応じません。

10 入学手続

(1) 入学手続期間

最終合格者は3月25日(土)から3月27日(月)の間に入学手続を完了してください。郵送による手続は認めません。

この日までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

(2) 場 所 京都市立芸術大学連携推進課入試担当(中央棟2階)

(3) 入学手続の方法

本学の入学手続に際し、必要なものは次のとおりです。

ア 入学料の納付 市内出身者 282,000円

市外出身者 482,000 円

- 注 1 市内出身者とは、入学前年の4月1日以前から引き続き京都市内に居住し、住民票の写しにより証明される者
 - 2 上記の入学料は令和 4 年度(2022 年度)入学者の場合であり、改定があった場合は合格者に 通知します。
- イ 誓約書の提出(正・副保証人)
- ウ 大学入学共通テスト受験票の提示

注 なお、入学時に必要な納付金及び提出書類については、合格通知と同時に合格者に通知します。

(4) 注意事項

一つの国公立大学に入学手続を行った者は、これを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うこと はできません。

11 追加合格

3月27日(月)入学手続締切後欠員が生じた場合は追加合格を行います。

追加合格は3月28日(火)から3月31日(金)までに行いますので、その期間は必ず連絡が取れるようにしてください。(連絡は大学から行い、受験生からの問い合わせには一切応じません。)なお、追加合格の実施の有無については、3月28日(火)に、その旨を本学ホームページに掲載します。

12 試験の成績照会について(第二次試験不合格者のみ)

第二次試験を受験して不合格となり、試験結果(不合格理由)の通知を希望する者は、不合格理由開示請求、受験番号、志望専攻、氏名を明記し、**本学受験票(原本)**及び長形 3 号の返信用封筒(定形封筒に宛先記入、84 円切手貼付)を同封のうえ、令和 5 年 4 月 1 日(土)から 4 月 30 日(日)までの間に連携推進課入試担当まで郵送で請求してください。なお、電話等での問い合わせには応じません。回答内容は、合格基準を満たさなかった項目にチェック印(✔)を入れたものとなります。(期限後の照会には応じません。)

13 必要経費

(参考:令和4年度(2022年度)入学者)

授 業 料 535,800 円 ・前期 267,900 円 (納期 4 月中)

・後期 267,900 円 (納期 10 月中)

入 学 料 282,000円(市内出身者)

482,000円(市外出身者)

学生教育研究災害障害保険料 3,300円(学部4年間分)

学研災付帯賠償責任保険料 1,360円(学部4年間分)

その他

音楽教育後援会会費 100,000円(学部4年間分)

真声会(同窓会) 入会金 15,000円

附 記

- 1 本学には寮の施設はありません。
- 2 本学には、日本学生支援機構(旧・日本育英会)、地方自治体、各種企業等の奨学金制度があります。
- 3 本学には授業料の減免制度があります。

14 個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(以下「個人情報保護法」という。)に基づき本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

(1) 利用目的について

- ア 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- イ 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断 等の保健管理に係わる業務で利用します。

- ウ 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で 利用します。
- エ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における授業料減免及び奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- オ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及 び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

(2) 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の 同意を得ることなく他の目的で利用または第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- ア 上記(1)ア〜オの個人情報を取り扱う業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結 したうえで、外部の事業者に委託する場合
- イ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うために、合格及び入学 手続等に関する個人情報(氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る。)を独立行政法人大 学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- ウ 本学の教育後援会、同窓会に情報提供する場合(合格者のみ)

15 教職課程科目の履修について(音楽学専攻)

音楽学専攻生も教職課程科目を履修することができますが、履修にあたっては、本学入学試験第二次 試験において、音楽学専攻以外の専攻に課している試験科目(音楽通論、旋律聴音、和声聴音、新曲 視唱、副科ピアノ演奏)程度の幅広い音楽的素養が必要となります。

※本学で取得できる教員免許状は、中学校教諭一種免許状(音楽)及び高等学校教諭一種免許状(音楽)です。

${ m I\hspace{-.1em}I}$

社会人特別選抜 (音楽学専攻のみの募集です。一般選抜との併願はできません。)

1 募集人員

音楽学科 音楽学専攻 若干名

- 注1 本学部は後期日程のみの募集です。
 - 2 社会人特別選抜の募集人員は、一般選抜の音楽学専攻募集人員3名に含まれます。

2 出願資格

社会人特別選抜試験に出願できる者は、一般選抜における出願資格(1)~(8)(本要項3ページに 記載)のいずれかに該当する者で、令和5年4月1日までに満23歳に達し、社会人(就職の有無は問 わない。) の経験を4年以上有する者とします。ただし、学校(定時制、夜間及び通信制の学校は除 く。) の通学期間は、社会人の経験期間に含めません。

- 注 出願資格(8)により出願しようとする者は、出願資格認定審査の手続を要するため、令和4年 12月23日(金)まで(必着)に連携推進課入試担当へ以下の書類を提出してください。(郵 送可)
 - ・京都市立芸術大学入学資格認定申請書(様式は連携推進課入試担当に電話で請求してくだ
 - ・出身校の学則等 (修業年限やカリキュラム等の確認できるもの)
 - ・出身校の調査書
 - ・出身校の卒業(見込)証明書

3 出願の流れ・出願手続

一般選抜に準ずる。

ただし、出願書類については「4 提出書類」のとおり。

4 提出書類

一般選抜に準ずる。

ただし、一般選抜とは下記の点が異なります。下記(1)及び(2)を、Web入学志願票等の必要書類 とともに、出願期限までに「簡易書留・速達」で郵送してください。

(1) 志願理由書

インターネット出願登録サイトで出願情報等の必要事項を登録し、入学考査料の支払い後に印刷(A4 判、カラー推奨)してください。印刷後、氏名や生年月日等が反映されているか確認し、手書きで本 専攻を志願した理由、履歴欄に最終学歴や職歴等を記入し、提出すること。

(2) 卒業・修了証明書及び成績証明書

調査書に代えて最終学歴の卒業・修了証明書または見込証明書及び成績証明書(厳封したものに限 る。)を提出すること。

注 一般選抜で求めている大学入学共通テスト成績請求票と調査書は不要です。

5 受験票

一般選抜に同じ

ただし、受験番号は次の区分とします。 音楽学専攻 27501~

6 出願状況

一般選抜に同じ

7 入学試験

一般選抜に準ずる。

ただし、大学入学共通テストを免除します。

8 不正行為等の取扱いについて

一般選抜に同じ

9 最終合格者発表

一般選抜に同じ

10 入学手続

一般選抜に準ずる。

ただし、大学入学共通テスト受験票の提示は不要。

11 追加合格

一般選抜に準ずる。

ただし、一般選抜を含めた音楽学専攻志願者の中から追加合格を行います。

12 試験の成績照会について(第二次試験不合格者のみ)

一般選抜に同じ

13 入学後の必要経費

一般選抜に同じ

14 個人情報の取り扱いについて

一般選抜に同じ

15 教職課程科目の履修について(音楽学専攻)

一般選抜に同じ

令和 5 年度(2023 年度) 音楽学部入学試験各専攻実技課題

作曲専攻

(第1日)·和声法(試験時間各2時間30分)

A バ ス課題:与えられたバスに和声をつけ、4声体とすること。

B ソプラノ課題:与えられたソプラノに和声をつけ、4声体とすること。

両課題とも記譜は次のaまたはbのいずれかを選択すること。

- a ト音記号とへ音記号の大譜表による。
- b ソプラノ、アルト、テノール及びバス記号による。ト音記号は用いない。 実施記譜例(a、bによる記譜)は別記のとおり。
- ・作品提出

自作品を1曲以上、試験当日に提出すること。なお、提出された作品は返却しないので、 コピー譜を提出すること。

(第2日):二声対位法(試験時間2時間)

与えられた全音符の定旋律に対旋律をつくること。対旋律は、2分音符、4分音符、8分音符と移勢(シンコペーション)を含む、いわゆる自由(華麗)対旋律によるものとする。解答は、次の $1\sim6$ の6通りが必要である。

- 1:定旋律をバスに置き、対旋律をソプラノに作る。
- 2: 定旋律をバスに置き、対旋律をアルトに作る。
- 3: 定旋律をバスに置き、対旋律をテノールに作る。
- 4: 定旋律をソプラノに置き、対旋律をアルトに作る。
- 5: 定旋律をソプラノに置き、対旋律をテノールに作る。
- 6: 定旋律をソプラノに置き、対旋律をバスに作る。

なお、定旋律は、ソプラノとバスにおいて、適宜移調してもよい。

記譜は次のaまたはbのいずれかを選択すること。

- a ト音記号とへ音記号の大譜表による。
- b ソプラノ、アルト、テノール及びバス記号による。ト音記号は用いない。 実施例(bによる記譜)は別記のとおり。
- ・作曲(試験時間4時間30分)

与えられた素材により器楽曲を作曲すること。

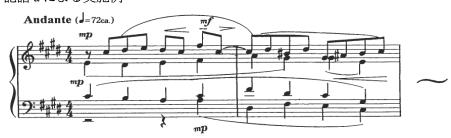
(第3日)·面接

各日の試験内容、及び提出作品について等の試問。

- ◎作曲専攻(第1日)和声法の実施例
- *課題 {過去の出題 (ソプラノ課題) より冒頭 2 小節}



*記譜 a による実施例



*記譜 b による実施例



◎作曲専攻(第2日)二声対位法の実施例

*記譜 b による実施例



指揮専攻

(第1日) 和声法(試験時間3時間)

与えられたバスとソプラノの旋律に和声をつけ、4声体とすること。

(記譜はト音記号とへ音記号の大譜表による。)

- (第2日)1 下記の楽曲の指揮をすること。演奏箇所は、当日指定する。(演奏は二台ピアノによる)
 - (ア) L. v. Beethoven: 交響曲 第1番 ハ長調 作品21より第1楽章、第4楽章
 - (イ) L. v. Beethoven: 交響曲 第2番 二長調 作品 36 より第1楽章、第2楽章 上記、出版社は自由とする。
 - 2 下記の楽曲による総譜視奏 (スコアリーディング)
 - (ア) L. v. Beethoven:交響曲 第7番 イ長調 作品92より第2楽章
 - (イ) 初見視奏(当日提示する管弦楽曲)
 - 3 既に習得している楽器(ピアノ、弦楽器、管打楽器、ハープのうちいずれか1つ)若しく は声楽を演奏すること。その場合、楽器は各自持参すること。ただし、コントラバス、ハ ープについては、楽器を持参できない場合は、本学で用意するので、楽器を持参するか否 かをインターネット出願登録時に入力すること。マリンバについては、本学で用意する楽 器を使用すること。

なお、<u>声楽を除きすべて無伴奏とし、</u>演奏曲目をインターネット出願登録時に入力すること。伴奏者は本学で用意する。ピアノで受験する場合も、第二次試験の副科ピアノ演奏を 受験しなければならない。

※声楽選択者の伴奏用楽譜について

声楽を選択する場合、伴奏用楽譜を出願の際1曲につき2部ずつ提出すること。

- ・1ページの大きさはA4判とし、各ページが全開するよう横一連に綴じること。
- ・表紙には曲名、調、氏名を明記すること。(表紙の右上部分には何も書かないこと。)
- ・印刷した Web 入学志願票等の必要書類とともに封筒に入れ、出願期限までに**「簡易書留・速達」**で郵送すること。
- 4 面接を行う。

ピアノ専攻

下記の楽曲を演奏すること。

- (第1日)1 ロマン派以降の作品から、練習曲以外の任意に選んだ作品。
- (第2日) 2 F. Chopin:練習曲作品 10 及び作品 25 から任意の 2 曲を選択し、第1日目に本人立会いのもと、係員による抽選で、演奏する 1 曲を決定する。
 - 3 J. Haydn または M. Clementi または W. A. Mozart または L. v. Beethoven の、任意のソナター曲全楽章を選択し、第1日目に本人による抽選で、演奏する(1つの、あるいは複数の)楽章を決定する。
- **※注意** (1) いずれも暗譜演奏すること。
 - (2) 繰り返しは自由。但し、ソナタ形式の提示部については繰り返ししないこと。
 - (3) 演奏するすべての曲の作曲者、作品番号、楽章、調名をインターネット出願登録時に入力すること。
 - (4) 1については7分以上12分程度までとする。
 - (5) 1 については、変奏曲の抜粋は認めない。
 - (6) 2について、以下の曲は除く。

作品 10 から 3、6、9 作品 25 から 1、2、7

- (7) 2について、作品番号にかかわらず2曲を選択することも可。
 - (例:10-1 10-2 あるいは25-4 25-5 あるいは10-1 25-4)
- (8) 時間の都合上カットすることがある。

弦楽専攻

下記の課題を演奏すること。

- **※注意** (1) 選択した曲目及び調名をインターネット出願登録時に入力すること。
 - (2) 全ての課題は伴奏なしで暗譜演奏すること。(繰り返し及びダ・カーポはしない。)
 - (3) コントラバスについてのみ、楽器を持参できない場合は本学で用意するので、楽器を持参するか否かをインターネット出願登録時に入力すること。
 - (4) 時間の都合上カットすることがある。

*ヴァイオリン

- (第1日) 下記の中から、いずれか1曲を選択し、その第1楽章と第2楽章(ただし Lalo のスペイン交響曲においては第1楽章と第4楽章)を演奏すること。
 - M. Bruch: 協奏曲 第1番 ト短調 作品 26
 - A. Dvořák:協奏曲 イ短調 作品 53

(Adagio ma non troppo から Finale の前までを第2楽章とする。)

- E. Lalo:スペイン交響曲 ニ短調 作品 21
- N. Paganini:協奏曲 第1番 二長調 作品6

(オリジナル版により演奏すること。カデンツァはなし。)

- C. Saint-Saëns:協奏曲 第3番 口短調 作品61
- J. Sibelius:協奏曲 二短調 作品 47
- P. Tchaikovsky: 協奏曲 二長調 作品 35

(第1楽章はカデンツァの前まで演奏すること。)

- H. Vieuxtemps:協奏曲 第4番 二短調 作品31
- H. Vieuxtemps:協奏曲 第5番 イ短調 作品37

(カデンツァはなし。Adagio から Allegro con fuoco の前までを第2楽章とする。)

H. Wieniawski:協奏曲 第1番 嬰ヘ短調 作品14

(第1楽章はカデンツァの前まで演奏すること。)

- H. Wieniawski:協奏曲 第2番 二短調 作品22
- **(第2日)** 1 C. Flesch: Scale System より No.5、6、7、8、9、10 ただし No.6~No.9 は最初の 4 小節 のみとする。
 - ○調性は任意であるが、全て同一の調性であること。
 - ○リズム及びボウイングはハ長調に準ずる。ただし No.6、7、8、9、10 は 4 分音符単位(16 分音符 4 個分)で、スラーをかけることとする。
 - ○速度は No.5 はメトロノームで 4 分音符=80 以上、No.6~10 は 8 分音符=60 以上で 演奏すること。
 - 2 下記の中から、いずれか1曲を選択し、演奏すること。
 - P. Rode: 24Caprices
 - J. Dont: Etüden und Capricen 作品 35
 - N. Paganini: 24Caprices 作品 1 (ただし 17番冒頭及び 24番の繰り返しはすること。)

*ヴィオラ

(第1日) 下記の中から、いずれか1曲を選択し、演奏すること。

Carl Stamitz: 協奏曲二長調作品 1第 1 楽章及び第 2 楽章(ヘンレ版を使用すること。カデンツァを除く。)

A. Hoffmeister:協奏曲 二長調 第1楽章及び第2楽章(ヘンレ版を使用すること。カデンツァを除く。)

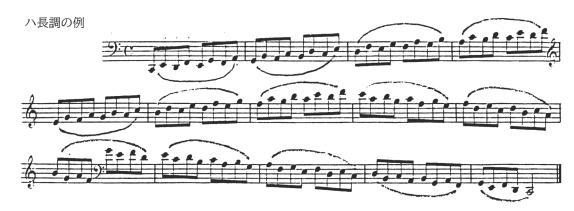
M. Reger: Suite 作品 131d No.1 第1楽章及び終楽章

(第2日) 1 C. Flesch: Scale System より No.5、6、7、8 ただし No.6、7、8 は最初の4小節のみとする。

- ○調性は任意であるが、全て同一の調性であること。
- ○リズム及びボウイングはハ長調に準ずる。ただし No.6、7、8 は 8 分音符単位(16 分音符 2 個分)で、スラーをかけることとする。
- ○速度は任意である。
- 2 B. Campagnoli: 41 Caprices 作品 22 より任意の 1 曲を選択し演奏すること。(版は自由とする。)

*チェロ

- (第1日) 任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章を演奏すること。
- **(第2日)** 1 J. Loeb の Gammes et arpèges (Billaudot 版) を参照のうえ、ホ長調による下記 (a) から (f) までの課題を演奏すること。
 - (a) 4オクターヴにわたる単音の音階(スラーは1弓8音」=100以上)
 - (b) 4オクターヴにわたる単音分散 3 度の音階 (スラーは 1 弓 8 音」= 100 以上)



- (c) 4オクターヴにわたるアルペジオ (スラーは1弓6音」=60以上)
- (d) 2オクターヴにわたる重音3度の音階(スラーは自由J=80以上)
- (e) 2オクターヴにわたる重音6度の音階(スラーは自由J=80以上)
- (f) 2オクターヴにわたる重音 8度の音階(スラーは自由」=80以上)
- (注)(d)(e)(f)の音階を始める音域は任意とする。また運指は全て自由とする。
- 2 J. Duport: Etudes より任意の 1 曲を演奏すること。
 - ※上記全ての課題曲の版は自由とする。

*コントラバス

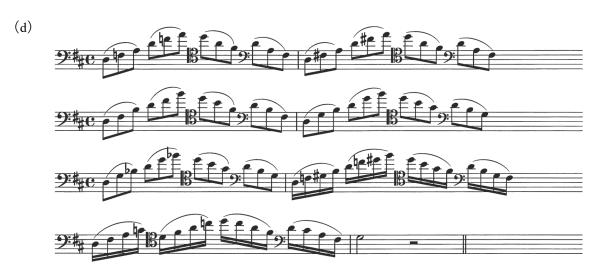
- (第1日) 任意ソナタの第1楽章及び第2楽章または協奏曲の第1楽章を演奏すること。
- **(第2日)** 1 下記 (a) ~ (d) までの音階及びアルペジオの課題を演奏すること。
 - 2 Josef Emanuel Storch: 32Etüden für Kontrabaß より23番を演奏すること。(Hofmeister 版を使用すること。フィンガリング、ダイナミックスは自由とする。)

(a)









管・打楽専攻

以下の楽曲を演奏すること。

- **※注意** (1) 下記の第1日の暗譜演奏の指示のない課題曲の楽譜は各自持参すること。(本学で楽譜は用意しない。)
 - (2) 下記の第2日の楽曲は、いずれも暗譜演奏すること。(繰り返しはしない。)
 - (3) 伴奏者は、いずれも本学において準備するので、同伴しないこと。
 - (4) 時間の都合上カットすることがある。

*フルート

- **(第1日)** E. Köhler: 12 Medium Difficult Exercises 作品 33 第Ⅱ巻の中から当日指定する曲(版の指定なし。)
- (第2日) W. A. Mozart:協奏曲 第1番 ト長調 K.313 (K6.285C) 第1楽章 (カデンツァを除く。)

*オーボエ

- (第1日) W. Ferling: 48 Etudes op.31 (Gerard Billaudot 版)より第11番、第14番、第19番、第21番、第26番、第33番、第35番、第36番、第40番、第44番の中から当日指定する曲
- (第2日) J. Haydn:協奏曲 ハ長調 Hob. Vllg: C1 第1、第2楽章 (Breitkopf版)

*クラリネット

(第1日)
 1 R. Eichler: Scales for Clarinet (KUNITACHI COLLEGE OF MUSIC) の各調 1・2 番を範囲とし、当日指定する調を暗譜で演奏すること (レガート、スタッカートのいずれかの指示をします)。

- 2 C. Rose: 32 Etudes (Alphonse Leduc 版) より第8番、第10番、第14番、第15番、 第17番、第25番、第26番、第27番、第28番、第31番の中から当日指定する曲。
- (第2日) Carl Maria von Weber: Concertino Es-Dur 作品 26

*ファゴット

- **(第1日)** J. Weissenborn: Fagott Studien 作品 8 第 2 巻より第 1 番から第 15 番までの中から当日指定する曲(繰り返しなし、版の指定なし)
- (第2日) G. P. Telemann: Sonata f-moll 第1楽章、第4楽章(版の指定なし。)

*サクソフォン

- (第1日) W. Ferling: 48 Etudes pour tous les saxophones (Alphonse Leduc 版)より第6番、第8番、第9番、第14番、第17番、第29番、第31番、第32番、第50番、第53番の中から当日指定する曲
- (第2日) A. Grazounov: Concerto en mi bemol (Alphonse Leduc 版) 冒頭から練習番号第 16 番まで 演奏すること。

*ホルン

- (第1日) C. Kopprasch: Sixty Selected Studies (C. Fischer 版、繰り返しなし)より第7番、第12番、第13番、第15番、第16番、第19番、第22番、第23番、第24番、第25番、第27番、第28番の中から当日指定する曲
- (第2日) W. A. Mozart:協奏曲 第4番 変ホ長調 KV.495 より第1楽章(カデンツァなし)及び第3楽章(第99小節目まで)

*トランペット

- (第1日) 1 E. F. Goldman: Practical Studies for the Trumpet より第19番 Cadenzas の中から当日指定する曲(C. Fischer 版)
 - 2 OSKAR BOEHME: 24 MELODIC STUDIES in all tonalities Opus20 より第1番~第20番の中から当日指定する曲なお、曲を演奏する前に、それぞれの調の音階を最初はテヌートで、リピート後は最後の分散和音までスタッカートで一息で演奏すること。
- (第2日) G. Alary: Morceau de Concours

*トロンボーン

- (第1日) Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社)より第10番、第13番、第15番、第16番、第17番、第18番、第19番、第20番、第21番、第25番、第31番、第36番、第38番、第39番、第42番の中から当日指定する曲(繰り返しなし)
- (第2日) F. David: Konzertino 変ホ長調 Op.4 第1楽章 (Zimmermann 版を使用すること。練習番号 Dまで演奏)

*バス・トロンボーン

(第1日) Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社)より第11番、第13番、第17番、第20番、第21番、第22番、第26番の中から当日指定する曲(繰り返しなし。第13番、第17番、第22番はオクターブ下で演奏すること)

Ostrander: Melodious Etudes for Bass Trombone (C. Fischer 版) より 第6番、第10番、第16番の中から当日指定する曲

(第2日) F. David: Konzertino 変ロ長調 第1楽章 (Zimmermann 版を使用すること。練習番号 Dまで演奏)

*ユーフォニアム

(第1日) 1 J. B. Arban: Fourteen Characteristic Studies より第1番、第4番から当日指定する曲 (Encore music publishers)

- 2 M. Bordogni: Complete Vocalises for Trombone より第6番~第15番から当日指定する曲(Encore music publishers)
- (第2日) P. V. De la Nux: Solo de Concours pour Trombone et Piano (Leduc 版)、 Concert Piece for Trombone or Baritone and Piano (Southern music company 版) (どちらの版でもよい)

*チューバ

- (第1日) 1 C. Kopprasch: 60 Selected Studies より第5番、第7番、第8番、第9番、第10番、第11番、第12番、第13番、第14番、第15番の中から当日指定する曲
 - 2 M. Bordogni: 43 Bel Canto Studies より第2番~第10番の中から当日指定する曲
- (第2日) W. S. Hartley: Suite for Unaccompanied Tuba (Elkan-Vogel 版) より第1楽章、第2楽章、第4楽章

*打楽器

打楽器 (A)、打楽器 (B) のいずれかを選択して演奏すること。(A、B いずれを選択したか、また A については選択した曲名を願書に明記すること。小太鼓については立奏、座奏いずれも可。両日 とも小太鼓およびスタンドは持参すること。)

打楽器(A)

- **(第1日)** (ア) A. J. Cirone: Portraits in Rhythm より、第6番、第15番の中から当日指定する曲
 - (イ) Heinrich Knauer: Kleine Trommelschule (Friedrich Hofmeister Musikverlag) より、 第 25 番、第 28 番、第 29 番、第 30 番の中から当日指定する曲
 - (ウ) 下記の楽曲の中から一曲を選択し、本学で用意するマリンバで演奏すること。 版の選択は任意。暗譜で演奏すること。
 - J. S. Bach: ソナタ 第1番 ト短調 BWV1001
 - J. S. Bach: パルティータ 第1番 口短調 BWV1002
 - J. S. Bach: ソナタ 第2番 イ短調 BWV1003
 - J. S. Bach: パルティータ 第2番 二短調 BWV1004より Ciaccona
 - J. S. Bach: ソナタ 第3番 ハ長調 BWV1005
 - J. S. Bach: パルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006

(第2日) 第1日目の(ウ)に同じ

打楽器 (B)

- (第1日) (ア) A. J. Cirone: Portraits in Rhythm より、第6番、第15番の中から当日指定する曲
 - (イ) Heinrich Knauer: Kleine Trommelschule (Friedrich Hofmeister Musikverlag) より、 第 25 番、第 28 番、第 29 番、第 30 番の中から当日指定する曲
 - (ウ) Siegfried Fink: Trommel-Suite より Intrada Toccata Mista Marcia (暗譜で演奏すること。)
 - (エ) J. S. Bach: パルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006より Bourée Gigue (本学 で用意するマリンバで演奏すること。版の選択は任意。暗譜で演奏すること。)
- (第2日) 第1日目の(ウ)に同じ

声楽専攻

(第1日) 自由曲:歌曲あるいはアリア1曲 (宗教曲も含む)。演奏時間は4分程度とする。

ただし、課題曲以外のものを選ぶこと。

(第2日) 課題曲:下記の15曲の中から各自4曲を選ぶこと。その中から当日2曲を指定する。

(1) C. Monteverdi Lasciatemi morire!

(2) A. Scarlatti Già il sole dal Gange

(3) A. Scarlatti Le violette

(4) F. Gasparini Lasciar d'amarti(5) A. Caldara Sebben, crudele

(6) G. F. Händel Ombra mai fu (Largo) より Aria の部分

(7) G. Paisiello Nel cor più non mi sento

(8) M. A. Cesti Intorno all'idol mio

(9) F. P. Tosti Sogno

(10) S. Donaudy Luoghi sereni e cari(11) V. Bellini Malinconia, Ninfa gentile

(12) F. Schubert An die Musik

(13) J. Brahms Sonntag

(14) 小松耕輔 母

(15) 平井康三郎 甲斐の峡

※注意 (1) 試験の際の演奏は暗譜とする。

- (2) 曲はすべて原語で演奏することが原則であるが、慣例として認められている訳語は可。
- (3) 自由曲で、オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調によるものとするが、慣例として 移調されて歌われるものはその限りではない。
- (4) 選択した曲名、作曲者名及び調性をインターネット出願登録時に入力すること。(提出後の調性の変更は認めない。)
- (5) 自由曲及び課題曲については、時間の都合上、カットすることがある。
- (6) 伴奏者は、両日とも本学において準備するので、同伴しないこと。

※伴奏用楽譜について

自由曲及び課題曲のためのピアノ伴奏用楽譜は、各自選択した調性の楽譜を、印刷した Web 入学志願票等の必要書類とともに1曲につき2部ずつ出願期限までに「簡易書留・速達」で郵送すること。(自由曲2部、課題曲8部、計10部)

- (1) 1ページの大きさは、A4判(297mm×210mm)にすること。
- (2) 各ページが全開するよう横一連に綴じること。 その際、テーピングはマスキングテープを使用すること (セロテープは不可)。
- (3) 表紙に第1日・第2日の別、曲名、調、氏名を明記すること。 「記入例参照]
- (4) 台紙として、厚紙などの別紙は貼り付けないこと。また、表 紙の右上部分には何も書かないこと。
- (5) 楽譜の曲名左下に「メトロノーム記号」を記入し、速度を指 定すること(自由曲・課題曲共通)。 「記入例参照]

【(3)記入例:伴奏用楽譜表紙】

第2日課題曲 J. Brahms Sonntag (○○調) 芸大 和音

【(5)記入例:楽譜1ページ目】



令和 5 年度(2023 年度) 音楽学部入学試験音楽学専攻試験内容

第一次試験

·英語(試験時間1時間40分、300点)

英語の長文を読んだうえで、自分の考えを日本語で論じるなど、小論文的な要素を含む。 英和・和英辞書の持込可、電子辞書の持込可。ただし、通信機能のないものに限る。

・事前提出物(与えられた課題に関する研究レポート、100点)

課 題:自分の関心に沿って、音楽や音(文化)について、具体的な問いを立て、調査・分析・ 考察等を行ったうえでまとめなさい。具体的な問いを立て、結論を提示すること。な お、本文中で図表や譜例等を用いても構わない。

様 式: A4サイズ (原稿の向きは縦、文字は横書き。上下左右に余白 3cm 程度設定すること)、明朝体 (日本語)、11ポイント、40字×30行、PDF形式 (手書きで作成せず、パソコン等を使用すること)

文 字 数:2,000字程度(図表、譜例、注、参考文献は字数に含まない)

<PDFファイルの提出方法>

・Dropboxのファイルリクエスト機能により提出すること。

ファイルをアップロードするためのリンクを、令和 5 年 2 月 16 日 (木) 以降に出願時に登録しているメールアドレスに送付します。

メールで送付したリンクを開くとアップロード画面に移るので、提出したい PDF ファイルを選択してアップロードしてください。

なお、PDFファイルのアップロードにあたり、Dropboxのアカウントを作成したり、アプリをインストールしたりする必要はありません。

メールが2月末までに届かない場合は、電話等により連携推進課入試担当まで問い合わせること。

・PDF ファイルのタイトルは、「事前提出物. 受験番号. 受験者氏名」とすること。なお、受験番号は 半角数字とすること。

(例)事前提出物. 27001. 芸大和音

・PDF ファイルの提出期限は、令和 5 年 3 月 3 日 (金) 18 時 00 分 00 秒とする。 (特別な事情がなく、上記期限までに PDF ファイルのアップロードがなかった場合は、受験を認めません。)

<その他注意事項>

- ・インターネット出願時に登録したメールアドレスで「@kcua.ac.jp」のドメインからのメールを受 信できるように設定すること。
- ・可能であれば、キャリアメール(NTTドコモ、ソフトバンク、au等)以外のメールアドレスを使用することが望ましい。
- · Dropbox の利用方法に関する問い合わせには一切応じません。

第二次試験

・口頭試問 (900点)

試験 時間:1人35分程度(事前提出物に基づいたプレゼンテーション(15分)と質疑応答(20分程度))

実施方法等:プレゼンテーション形式は自由。

紙媒体の配布資料を使用する場合は、合計5部を各自で印刷して、当日持参すること。パソコンを用いてプレゼンテーションを行う場合には、PowerPoint、Keynote、またはGoogle スライドで作成し、USBメモリに保存し、当日持参すること。パソコン、プロジェクター、ケーブルは大学で用意する(持参したノートパソコンの使用も可能とするが、その場合も発表資料を保存したUSBメモリを用意しておくこと)。

第二次試験 副科ピアノ課題曲(事前の動画提出による映像審査)

副科ピアノの課題曲については、次のとおりとします。

1 音階:次の調性の中から同一調子記号による長調と短調を事前に指定する。

(音階指定は令和5年2月16日(木)以降に、出願時に登録しているメールアドレスに送付します。) 速度はJ=76M.M.以上。

 ハ長調
 ト長調
 二長調
 イ長調
 変ロ長調
 変ホ長調

 イ短調
 ホ短調
 ロ短調
 嬰ヘ短調
 二短調
 ト短調
 ハ短調

- (注) ハノン第 39 番による。長調の音階は繰り返し演奏し、終止形をつけて終わる。 短調は、和声的及び旋律的短音階の両方を一度ずつ続けて演奏し、終止形をつけて終わる。
- 2 (A) J. S. Bach: 平均律クラヴィーア曲集 第 1 巻より 第 11 番 へ長調 BWV856
 - (B) J. S. Bach: 2声のインヴェンション BWV772~786 より1曲またはシンフォニア (3声のインヴェンション) BWV787~801 より1曲を自由選択 ただし、インヴェンション第10番ト長調、シンフォニア第5番変ホ長調、シンフォニア第6番ホ長調を除く。
 - (C) W. A. Mozart:メヌエットへ長調 KV.2 繰り返しはしない。
 - (注) ※作曲及び指揮専攻志願者は、上記1は必ず、2は(A)(B)の中から1つを選択し、演奏すること。
 - ※弦楽、管・打楽及び声楽専攻志願者は、上記 1 は必ず、2 は (A) (B) (C) の中から 1 つ を選択し、演奏すること。
 - ※全て暗譜で演奏すること。(繰り返しはしない。)

<動画の提出方法>

· Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること。

動画ファイルをアップロードするためのリンクを、令和 5 年 2 月 16 日(木)以降に出願時に登録しているメールアドレス に送付します。

メールで送付したリンクを開くとアップロード画面に移るので、提出したい動画ファイルを選択してアップロードしてください。

なお、動画ファイルのアップロードにあたり、Dropbox のアカウントを作成したり、アプリをインストールしたりする必要はありません。

メールが2月末までに届かない場合は、電話等により連携推進課入試担当まで問い合わせること。

- ・動画はピアノ専攻及び音楽学専攻志願者を除く受験者全員が提出すること。
- ・動画は mp4 形式で作成し、タイトルは、「副科ピアノ. 受験番号. 受験者氏名」とすること。 なお、受験番号は半角数字とすること。
 - (例)副科ピアノ. 21001. 芸大和音
- ・動画の提出期限は、令和5年3月3日(金)18時00分00秒とする。

(特別な事情がなく、上記期限までに動画のアップロードがなかった場合は、受験を認めません。)

<動画について>

- ・動画の収録においては、課題曲演奏前に受験番号を言うこと。なお、受験番号は動画で聞きとれるように、大きな声ではっきり言うこと。
- ・カメラアングルは固定し、演奏者の顔と手元が常に明確に映ること(全て暗譜で演奏すること)。
- ・動画は本学入学試験のために収録したものとし、編集や加工は一切禁止する。また、提出後の差 し替え・変更は認めない。
- ・ビデオカメラに音声ボリュームを自動的に調節する機能がついている場合は、演奏の抑揚がなく なるため、使用しないこと。また、音量が極端に小さい、あるいは大きい、また雑音が入ったり

しないように収録すること。

- ・映像と音声は同時に収録すること。映像と音声が一致していない場合や、映像や音声を加工したと判断した場合は、失格となる可能性があります。
- ・課題曲1・2はカメラを止めずに続けて演奏し、ひとつの動画に収録すること。

<採点について>

・採点は第一次試験合格者のみに対して行います。

<その他注意事項>

- ・インターネット出願登録時に登録したメールアドレスで「@kcua.ac.jp」のドメインからのメール を受信できるように設定すること。
- ・可能であれば、キャリアメール(NTTドコモ、ソフトバンク、au等)以外のメールアドレスを使用することが望ましい。
- ・動画の作成方法及び Dropbox の利用方法に関する問い合わせには一切応じません。

試験会場

京都市立芸術大学(京都市西京区大枝沓掛町13-6)

◆試験会場への略図



◆試験会場周辺略図



◆試験会場への交通機関

令和4年10月1日現在

主要な駅	のりば	バスの種類	乗車時間	最寄りのバス停	バス停から 大学までの 所 要 時 間
京都駅	C2 のりば	京阪京都交通バス (2・14・28A 系統)	約 45 分	芸大前	徒歩すぐ
C5のりば		市バス(73系統)	約 45 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分
阪急桂駅	桂駅東口 ②のりば	京阪京都交通バス (1・2・13・14・25・28A 系統)	約 20 分	芸大前	徒歩すぐ
	桂駅西口	市バス(西5系統)	約 20 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分
JR 桂川駅 (阪急洛西口駅経由)		京阪京都交通バス(11A 系統)	約15分	芸大前	徒歩すぐ
JR 向日町駅(JR 桂川駅・ 阪急洛西口駅経由)		ヤサカバス(1号系統)	約 25 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分

【注意】

- 1 交通機関の利用については、路線及びダイヤの変更に留意するとともに、周辺の交通事情等を事前に把握し、試験当日、指定の時刻に遅れることのないよう注意してください。
- 2 バスは京阪京都交通の利用が比較的便利です。

令和4年(2022年)11月 京都市立芸術大学 連携推進課 入試担当 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6 Tel 075-334-2238 Fax 075-334-2281 https://www.kcua.ac.jp 点都市立芸術大学 Kyoto City University of Arts